

つながる・ひろがる交流会～前山学区～

日時：平成 30 年 9 月 25 日(火)

14:00～15:30

場所：名東区役所 講堂

テーマ 「子ども会の活動」について

1 概要

前山学区では、前山学区子ども会の中に3つの単位子ども会(単子)があり、69世帯102名の小学生が入会しているが、前山小学校生徒数402名のうち、約25%の加入率である。学区子ども会は、「前山学区連絡協議会」と「名東区子ども育成連絡協議会」と連携し、理事会、安全部会、広報部会に定期的に参加しながら活動しています。

各単子では、清掃活動やクリスマス会の他に、サツマイモの苗植えから芋掘り収穫や、ハロウィンパーティやハーバリウム体験会など、様々な行事を行っています。

3単子合同で、毎年恒例の竹刈り・タケノコ堀り、高針村ふるさとまつりや盆踊り大会(高針学区との合同)、運動会等を企画し、親子参加型の行事運営も多く、子ども達からも好評です。

2 課題

会員数は年々減少しており、「新規入会者の減少」「途中退会者が多い」「役員の回数増」などが考えられる。学区としては、まだ深刻な状況とはとらえていないが、大きな課題として今後も取り組んでいきたいです。

3 意見交換の主なやりとり

＜質疑応答＞

○(学区連協会長)

入会しない理由のうち、「子どもが入りたがらない」とか「途中で行けなくなった」と言っているのは、子ども自身でしょうか、親でしょうか。

→(前山学区子ども会会長)実際に聞くのは保護者からが多いです。子ども達に会った時に直接声をかけても、あまり良い返事はないです。

＜各学区のご意見＞

○(学区連協副会長)

子ども会入会率は30%台ですが人数が多く、それぞれの単子では色々知恵を絞って活動を行っています。入会者が増えない理由として、役員は大変だからやりたくない親御さんが多いですが、入会している子ども達や役員はとても楽しそうに活動しているので、出来るだけ負担が無いように進めていきたいです。

○(学区連協会長)

子ども会の加入率は90%以上です。驚いているし、有り難く思っていますが、活動が続けていくのに張り切り過ぎると逆効果になることもあるので、一緒にやってくれるかが大事だと思います。

(子ども会会長)

90%以上の加入者ですが、新入生も転入生も自然に入会してくださるので、有り難いと思います。昨年度単子の役員をやってみて、1年生から6年生まで、男の子も女の子も楽しい嬉しい行事を用意するのはとても大変でした。

○(学区連協会長)

恵まれた自然環境もあり、子どもさんの為を思っ一途に努力されていることが伺えました。少子化や核家族、子どもが忙しい、役員のなり手が居ない等状況は様々ですが、地域での活動、教育、躰は大事だと思います。地域での環境づくりとしては、今は親側の世界観も全然変わってしまっているので、時代も違うし、私達側の考え方も変わらなければと思います。

○(子ども会会長・名東区子ども会育成連絡協議会)

前山学区さんは模範的な活動を行っていて、学区の様々な行事にも子ども会として参加している姿は良いと思います。子どもを取り巻く環境として、楽しければいい、笑顔があればいい、何でもやってあげたいという気持ちで、これからも役員一同心を同じ方向に向けて頑張っていきたいです。

○(前山学区名誉会長)

タケノコ掘りは、高齢者の給食サービスを兼ねて始めました。民生委員の活動と子ども会の活動が一緒にやれていいと思いました。掘りたての美味しいのを食べさせたいと思うと、大変ですが、子ども達のために続けていきたいと思っています。

4 まとめ

〈前山学区連絡協議会会長〉

本日はありがとうございました。子ども会の活動に対して、皆さんと同じ悩みで心強いこともあり、加入率アップを目指していきたいと思っています。これからも子どものために、ここで大きくなれて良かったと思って貰える、そんな地域づくりを一緒にやっていきたいと思っています。

〈名東区長〉

大変素晴らしい発表をお聞きして、子ども会加入率が30%台と初めて知りました。名東区は人口の移動が多く、お子さんをお持ちの家庭の移動が多いことが特徴ですが、小学生の数は増えております。地域で子ども達を見守り、育てていくということが、名東区の「つながるまち、ひろがるまち」の原点であると思います。地域との繋がりが薄くなってきているとは言いますが、子どもさん方が親睦を深めて、いろんな体験をしていただいて経験を積んでもらうことで良い思い出作りをしていただきたいと思います。